

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 3 年 3 月 31日

事業所名放課後等デイサービスcocoro多治見生田教室

|          |  | チェック項目   | はい | いいえ  | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                       |
|----------|--|--|----|--|---|--|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | 9  |  |   |  |
|          | 2  | 職員の配置数は適切である   | 9  |  | 十分に必要な職員を配置している。                                    |  |
|          | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | 7  | 2  |   | 教室に入るまでに階段がありバリアフリーにはなされていない。今までにバリアフリーの必要な対象者がいなかったが今後検討していく。 |
| 業務改善     | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                | 9  |  | 個別支援計画に基づいた支援を心掛けており、振り返りも行っている。                    | 今は良いサイクルができつつあるため今後もスタッフの参画を促していく。                             |
|          | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | 9  |  | 昨年度は保護者アンケートを受けて、指摘された部分を改善につなげている。                 | あまり保護者から意見が上がってこないのも、もう少し意見を言える環境を作っていきたい。                     |
|          | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | 9  |  | ホームページで公開をしている。                                     | ホームページで公開していることを今後広く利用者に周知していく。                                |
|          | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             |    | 9  | 第三者委員会の評価は行っていない                                    | 今後時期を見て外部評価を行いたいと思っている。  |
|          | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | 9  |  | コロナの影響で前半はできなかったが後半に入り、広い会場を借り行うことができた。             | 今後は県の開催する研修等にもどんどん参加していてもいい。                                   |
| 適切な支援の提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 9  |  | アセスメントは時間をかけて行い、保護者ばかりでなく子供のニーズも踏まえた上での支援計画を作成している。 |  |
|          | 10   | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                 | 9  |  | 参加されたアセスメントツールを使用している。                              |  |
|          | 11   | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                       | 8  | 1  | 全員ではないがチームで立案は行っている                                 | 今後スタッフの中でプログラムの立案も視野に入れる                                       |
|          | 12   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                     | 8  | 1  | 外部の講師などで固定化しないよう工夫はしている。                            | 平日などは同じようなイベントになってしまうが、今後工夫をしていくように考える。                        |
|          | 13   | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                         | 9  |  | 長期休暇等は個別に課題を決めている。                                  |  |
|          | 14   | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している            | 9  |  | その子に合わせて個別と集団と分けている。                                | 今後も個別に支援が必要な子は活動組み合わせる   |
| 15       | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 9  |    | 支援前には時間をかけてその日の打ち合わせ申し送りを行っている役割についても必ず分担している。 |   |  |

|              |   |   |   |   |   |  |  |
|--------------|---|---|---|---|---|--|--|
|              | 16  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                   | 9 |   | 支援が終了した後には必ず聞き取りをし職員間で共有し次の支援に生かせるようにしている                 |  |  |
|              | 17  | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                               |   |   | 問題点を話し合い改善につなげている。<br>記録は毎日とっている。                         |  |  |
|              | 18  | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                             | 9 |   | 半年に1回ないしそれ以前に必ずモニタリングを行い個別支援計画の見直しをしている。                  |  |  |
|              | 19  | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている                                    | 9 |   | 4つの基本活動を組み合わせている。   | 今回地域交流の機会の基本活動は、コロナの影響で出来ていない                |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 20  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     |   |   | 担当職員が参加している。  |  |  |
|              | 21  | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 8 | 1   | 学校によって違いがあるが情報の共有が出来る学校もある。                               | 今後どの学校とも連携していく。                              |  |
|              | 22  | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             |   |   | 該当なし  |  |  |
|              | 23  | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                | 9 | 3   | 保育園の個別支援計画等は親の許可を得て見せていただく事はあるが情報共有はなかなか図ることができない。        | 今後保育園や幼稚園等と連携を図る方法模索していく。                    |  |
|              | 24  | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     |   |   | 該当なし  |  |  |
|              | 25  | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                          | 9 |   | 毎月訪問し、支援についての助言を必ず受けている。                                  |  |  |
|              | 26  | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                 |   | 9   |   | 以前は児童館等等へ行き地域の子供と連携があったがコロナの影響でできていない。       |  |
|              | 27  | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している   |   | 8   |   | 土岐市のネットワーク会議に参加しその意見が子供部会に吸い上げができるように検討している。 |  |
|              | 28  | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                        | 8 | 1   | 連絡帳や、携帯などを使い子供の様子は細かくお伝えしている。また変わったことがあったときにはお電話などで対応している |  |  |
| 29           | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 8   | 1 | 保護者に対してのアドバイス等は行っているが本格的なペアレント・トレーニング等は行っておらず、県の機関にお任せしている。 |   |  |  |

|            |    |  |   |   |   |
|------------|----|--|---|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | 9 | 運営規定は常に閲覧できるようにして契約の際にもきちんと説明をし掲示してある場所も設置してある。         |   |
|            | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                       | 9 | 悩みなどがある方には相談の窓口を設け助言を行っている。                             |   |
|            | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                   |   | 保護者会等を行っていない。以前(行事など企画したが誰も参加者がいない。                     | 今後親子行事などから保護者同士の交流を図るよう検討していく。                        |
|            | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している             | 9 | 福祉サービス苦情解決研修会に参加している。                                   |   |
|            | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                               | 9 | 毎月写真やイラスト等のニュースレターを発行し行事やイベント等の予告を行っている。                |   |
|            | 35 | 個人情報に十分注意している  | 9 | 注意している  |   |
|            | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | 9 | お便り等は個別に配慮の必要な親には別のお便りを配布している。                          |   |
|            | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   |   | 9   | イベントに地域の住民、地区の役員などを招待したがコロナで中止になってしまった。               |
| 非常時等の対応    | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | 9 | 感染症マニュアル防犯マニュアル緊急時対応マニュアル等は策定し保護者に閲覧できるようにし契約の際に周知している。 | 周知はしているが保護者の意識が低いため今後関心を持っていただくようなアプローチが必要かと思う。       |
|            | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   |   | 9   | 年に2回避難訓練を行っている、また防災の日には防災の話をして啓発活動に努めている。             |
|            | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 9 | 毎年虐待防止に関する研修会を必ず受けている虐待防止委員を選定している。                     |   |
|            | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している |   | 12  | 毎年虐待防止に関する研修会を必ず受けている。虐待防止委員を選定している。                  |
|            | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   |   | 9   | アレルギーに対しては母親から必ず食物アレルギーについては聞き取りを行い表にしてスタッフ全員に周知している。 |
|            | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  |   | 9   | ヒヤリハットを作成し共有している。                                     |